

# 日本経済最大の危機！このままでは国家が破綻する。

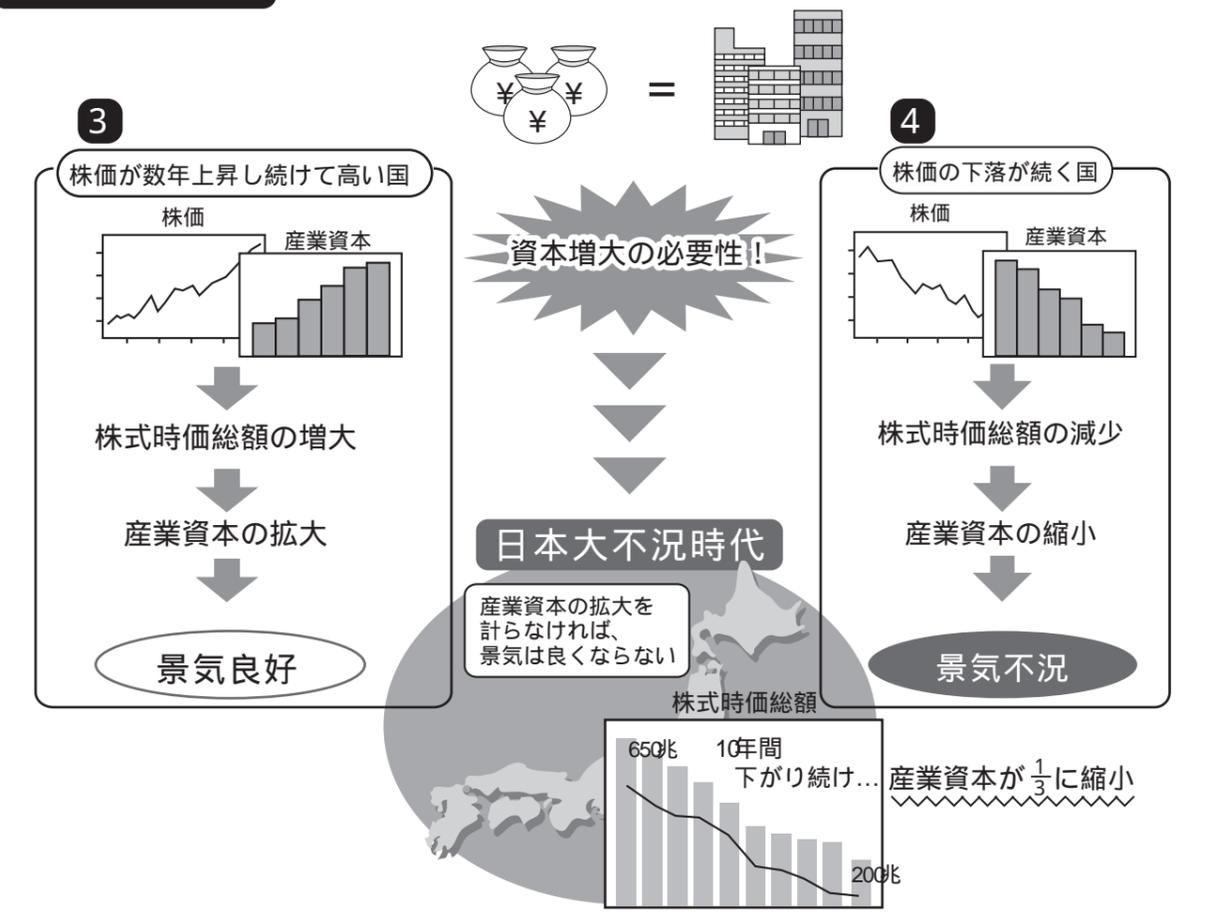
## 提言 その1

### 真理・原理に基づいた政策によって目的達成を

私はニードルベアリングで日本トムソン(株)、直動システムでTHK(株)を創業し、成功した。いずれも、開発された特許製品は真理を追究し、原理に叶ったものである。そして私は何事も格言を信じ、判断した。格言は人類何千年の知恵の所産であり、真理原理を説いている。

### 経済問題の真理

資本は産業の米である



経済問題についての真理を下記に述べる。

1. 資本は産業の米である。
2. 資本は産業の米であるから、資本を増大して産業の拡大を計らなければ景気は良くなる。新産業をやりやすくして成功させる政策をとるべきである。
3. 資本主義経済国では株価が数年間上昇し続けて高い国は経済が上昇し景気が良くなっている。これはその国の株式時価総額が大きくなって産業資本が増大しているからである。
4. 株価が数年間下落し続け安くなっている国は景気が悪い。それは株式時価総額が減少し、産業資本が小さくなっているからである。
5. 日本はこの10年間株価が下がり続け株式時価総額が650兆から200兆に減少したので、それに比例して産業資本が小さくなり、大不況になっている。
6. 日本の景気を良くするには株価を上昇させて株式時価総額の増大を図り、産業資本を大きくさせるべきである。
7. 日本の株価がこの10年間供給過剰で需給バランスが悪く、余り物に値なしの状態が続き実勢価格の半値程度に安くなり過ぎている。需給バランスをとって実勢価格に復元させるべきである。

## 提言 その2

### 景気回復のため、ETF-225投信 20兆円を国民に販売する

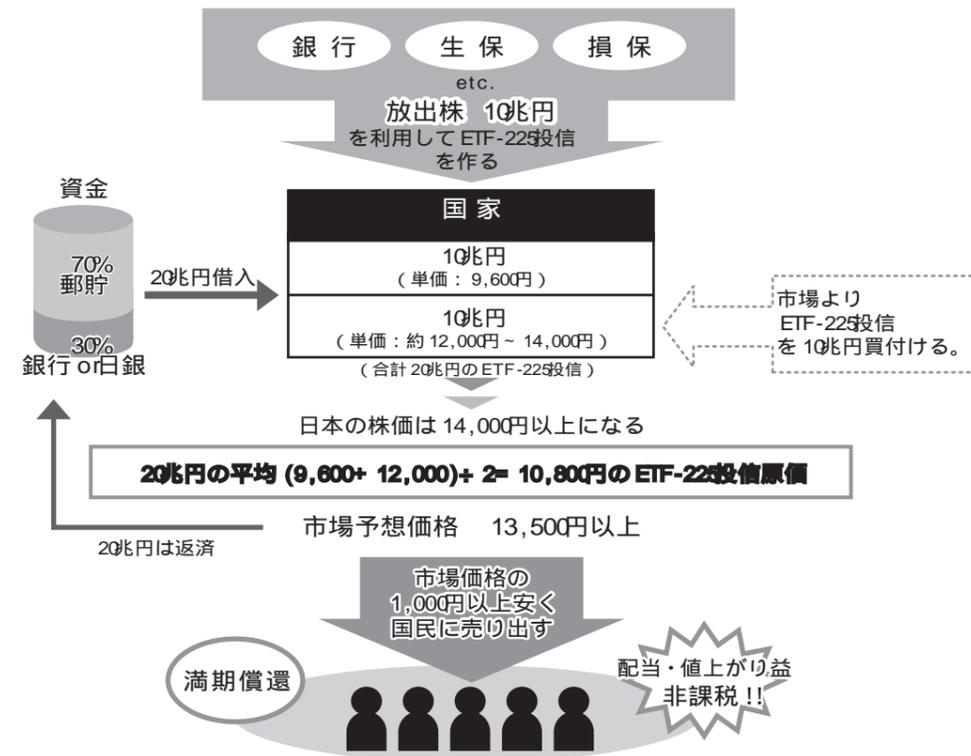
- これ以上国民に犠牲と負担をかけない手段 -

良い 株主構成の構造改革 (金融界株主 ETF-225投信 個人株主)。  
 : 市場からETF-225投信 10兆円買い上げ 需給改善 株価復元上昇 産業資本増加 景気回復  
 悪い 株主構成の構造改革 (金融界株主 株式 (産業資本) の現金化)  
 : 需給悪化 株価下落 産業資本減少 景気悪化  
 株価 5,000円の上昇で産業資本は 100兆円増大。

1. ETF-225投信 10兆円を銀行・生保・損保等の放出株を利用して作る。単価は9,600円で作る。資金は郵貯 70% 銀行 30% で借入金または日銀より借り入れとする。残り 10兆円を既に市場に溢れているETF-225投信を買い上げる。恐らく 14,000円 (この買い入れ平均単価は 12,000円) 迄買い上げねばならないと考える。そうすれば日本の株価は 14,000円以上になる。  
 $20兆円の平均 (9,600円 + 12,000円) \div 2 = 10,800円$  のETF-225投信原価

多分市場価格は 13,500円以上であろうから、これを国民に市場価格の最低 1,000円以上安く売り出す。そうすれば、20兆円のETF投信は完売できるので、それで借入金を返済する。1,000円割引で売り出す条件として満期償還を原則とし、配当、値上がり益は非課税とする。5年の間には日本経済も回復し株価も上昇するから、ETF-225投信も上昇するし、最良の投資物件となる。こうしてETF-225投信 20兆円を国民大衆に販売すれば、株式の需給のバランスが取れ、世界の株価が下落し、外国勢が日本株を売却しても、日本の株価は 10,000円を割ることはないし、日本の金融機関も余剰株は持っていないので健全かつ安全である。

2. ETF-225投信は利回りも 1.2% と好利回りであり、ペイオフにも関係なく、何時でも売却でき、4日後には現金化するので普通預金と同じである。又、国益になるので全国民が協力すべきである。日本の優良企業 225社の株をその平均株価で買うので資産の裏付けがあり、国債よりも安全かつ優良な投資物件である。



需給改善 → 株価実勢価格に上昇 → 産業資本の拡大 → 景気回復